

安来高校植物図鑑（2023年5月）

シイノキの仲間（椎）

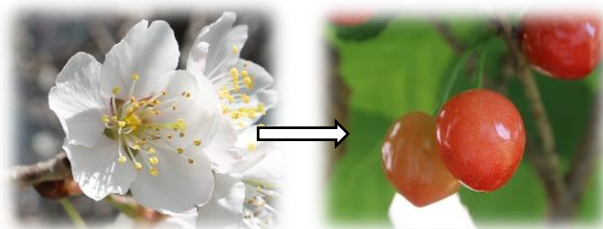
安来高校の教職員駐車場で、5月になると何となく漂ってくる花の香り。私はこの香りがどうしても苦手です。紙面で香りをお届けできないのが残念です。この香りの正体はシイノキの花。スタジイだと思われます。スタジイは、日本の暖温帯ならばどこでも見られる樹木で、葉の表面に光沢がある照葉樹の代表種でもあります。花が大量に咲くと樹冠が黄色っぽく見えるので、5月に森林を見るととてもわかりやすいです。シイノキは椎茸栽培の原木としても使われます。しかし現在は主にクヌギ、コナラなどが使われるようですが、フサフサとした雄花はまるでブラシのようで、遠くから見ても存在感があります。雌花は小さくて目立たなく、写真には撮れませんでした。



れます。しかし現在は主にクヌギ、コナラなどが使われるようですが、フサフサとした雄花はまるでブラシのようで、遠くから見ても存在感があります。雌花は小さくて目立たなく、写真には撮れませんでした。

クスノキの仲間（楠）

仲間とは書きましたが、クスノキそのものだと思います。安来高校の校庭の南側にずらっと1列に並んでいる樹木です。今までは何気なく見ていたのですが、最近樹木の種類を勉強するようになったので、先日近くで見たらすぐにわかりました。それぐらい見分けやすい樹木であると言えます。クスノキと言えば、防虫剤に使われる樟脳(ショウノウ)の原料であることが有名です。樹木そのものからも樟脳の匂いがほんのりと感じられるようですが、私にはわかりませんでした。さらに、防虫剤の原料なのに、葉の中にダニを飼っていることも有名です。他の有害なダニが来たときに食べてもらっているのだそうです。葉の縁が少しひだひだになって波打っているように見えるのも特徴的です。とても小さな可憐な花が咲いていることに、この度初めて気が付きました。



3月に紹介したミザクラの花から、サクランボが実りました。先日職員室にも置いてありましたね。たった数か月でこんなにも変化するなんて感動です。経過観察してみればよかったなど、後になって思いました。